

海外送金手続きの一般的な流れ

①自身の口座がある銀行の支店を営業時間内に訪問。

【持参するもの】

- 公的な身分証明書（運転免許証やパスポートなど）
- 参加費の請求書または送金先の銀行口座情報と送金額が記載されている支払依頼のメール

※公的な身分証に加えて、銀行によってはマイナンバーカードが求められる可能性があります

②銀行の受付の方へ海外送金（又は国際送金）したい旨を伝える。

③各銀行指定の申請書を記入。

【申請書記入時の注意事項】

- ✓ 海外送金申請書は、参加費の請求書を元に正確に記入。
- ✓ わからないことがあれば、銀行の担当者が手伝ってくれます。
気軽に相談しましょう。

- ✓ 送金に掛かる全ての手数料は自己負担です。

※銀行によっては、数千円以上かかる場合があります。

予め各銀行 HP 等で確認の上、訪問することをお勧めします。

- ✓ 送金時の通貨は、請求書に記載の通貨を選択してください。

（例：請求書の記載額が USD 800 の場合⇒US ドルでの送金）

※請求書に記載の通貨での送金を選択できない場合

銀行の方に相談しながら、それに相当する金額を送金してください。

④記入済みの申請書を窓口へ提出。送金完了後は、申請書の控えを受領。

⑤申請書の画像をスマートフォンやデジカメ等で鮮明に撮影。

⑥上記⑤で撮影した画像を国際教育センター（mltanki@toyo.jp）へメールで提出。

※研修先に直接送金申請書控えの提出するよう指示されている場合は、参加者本人が責任もって研修先大学担当者にメールで送信してください。その際、CCに mltanki@toyo.jp を含めてください。

【その他の注意事項】

★**期日までに入金ができなかった場合、参加が取り消される場合があります。**早めに手続きをしましょう。

★為替レートの変動などにより不足金額が生じた場合は、現地到着後、参加大学より請求されます。

以上